

奈良の魅力向上が加速！

花咲く未来へ

令和7年度予算

奈良県には、世界に誇る歴史文化遺産、豊かな自然や景観、大都市近郊ならではの利便性など多くの魅力があります。一方で、仕事と子育ての両立のしにくさ、道路などのインフラ整備の遅れといった早急に改善しなければならない課題も多々あります。

そのため、徹底した行財政改革とともに、「私立高校の授業料の実質無償化」や「保育士の処遇改善」、さらには「ならの道リフレッシュプロジェクト」などのさまざまな新規事業に取り組み、県民の皆さんが将来にわたり幸せに暮らしていける、そんな県づくりの種まきを行ってきました。

また種が花を咲かせ、実をつけるには長い年月が必要ですが、奈良県のもつ可能性を最大限に引き出し、県民の皆さんが暮らした豊かさを実感できる奈良県にするために取り組みを加速化させます。

飛躍の芽吹きが未来を創る

- 1 安心・安全な明日へ
- 2 こども・若者が輝く明日へ
- 3 豊かな経済を実感できる明日へ

令和7年度予算額 5,637億円

行財政改革で限りある予算や人員を県の発展に集中

継続事業の見直し

事業効果の高い施策への重点化を図るため、既存事業を見直し

148事業

効果額 ▲21億8,300万円

①事業の廃止

43事業(▲2億5,700万円)

②事業の見直し

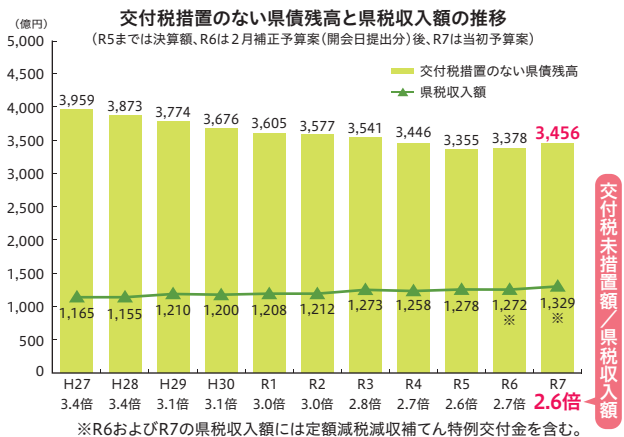
65事業(▲11億8,200万円)

③事業の完了など

40事業(▲7億4,400万円)

財政の健全性を維持

交付税措置のない県債残高と県税収入額との比率は2.6倍と昨年度より改善



令和7年2月25日に県議会に提案した令和7年度当初予算案を基に作成しています

1 安心・安全な明日へ

県民の命と財産を

守るための防災力強化

■ 大規模災害発生時の応急対策強化のため、広域防災拠点などを活用した**受援体制の検討**や、五條県有地における**南部中核拠点の整備**を推進します。



南部中核拠点先行整備(イメージ)

■ 消防防災ヘリコプターの更新や近畿府県合同防災訓練の実施、五條県有地への**消防学校の移転整備**を推進するなど、消防力の向上に取り組みます。



倒壊ビル救出訓練の様子

■ 日本一災害に強い奈良県を目指し、「奈良県地域防災計画」に基づき、**自助・共助の推進**や**防災活動体制の整備・充実**、**自主防犯・防災リーダーの育成**などに取り組みます。

西和医療センターの移転整備

■ 令和13年度中の開院に向け、**用地取得のための調査や設計**などに取り組みます。



建設予定地(斑鳩町)

県立病院機構の経営改革の支援

■ 県立病院機構の経営を安定化させるため、県から長期貸し付けを行うとともに、**早期の黒字化**を目指し、**県立病院機構の取り組み**を支援します。



高齢者にやさしい県づくり

■ 市町村に先進的な**介護予防**の事例紹介や個別支援を行うとともに、**介護給付の適正化**を支援します。

■ 介護人材不足に対応するため、事業所が行う**介護ロボットやICT機器の導入**を支援するとともに、**外国人材の活用**も進めます。



住民主体で行う「いきいき百歳体操」(大淀町)

発達障害児(者)の支援強化

■ 「県発達障害者支援センター」の相談員・地域支援マネージャーによる**当事者とその家族に寄り添った支援**を行います。

■ 「県総合リハビリテーションセンター」の小児科医師の増員を継続するとともに、**専攻医を継続して受け入れるなど発達障害の診断を行う医師の確保・育成**を行います。

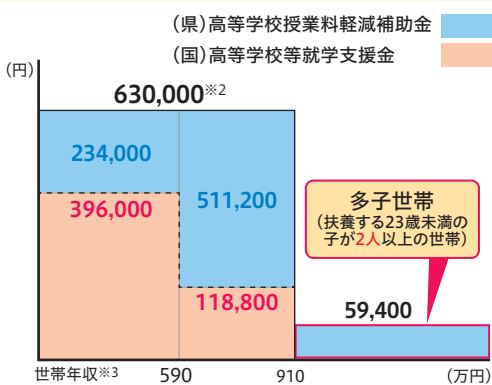
2 こども・若者が輝く明日へ

こどもをまんなかにおき、社会全体で子育てを支援するあたたかい県民性を育むことを目指し、「奈良県こどもまんなか未来戦略」に基づき、こども・子育て施策を総合的に推進します。

私立高校授業料の実質無償化

■県内に保護者が在住し、こどもが県内の高等学校などに通う年収の目安が910万円以上の世帯について、「扶養する23歳未満の子が3人以上の世帯」から「扶養する23歳未満の子が2人以上の世帯」に支援対象を拡大します。

私立高等学校等※1(全日制・定時制)の支援イメージ※4



※1 私立高等学校・高等専門学校・私立専修学校(高等課程(3年制))(通信制高校については、県内に設置された県認可校に限る)
 ※2 通信制は32万1,000円
 ※3 世帯年収は、両親の一方が働いていて、高校生1人、中学生1人のサラリーマン世帯の場合の目安
 ※4 支援イメージは令和6年度の国制度を基にして作成

こども・子育て施策の推進

■民間保育所などに勤務する保育士の給与加算に取り組む市町村を支援し、**保育士の処遇改善**を進めます。

■年齢や性別に関係なく、誰もが働きやすい社会を推進するため、県内企業、市町村、教育現場のトップに向けたセミナーを行うなど、**ジェンダーギャップの解消**などに取り組みます。

■**ヤングケアラー・コーディネーター**を新たに配置し、市町村や関係機関と連携してヤングケアラーを早期に発見・把握し支援につなげます。教育現場での支援として**スクールカウンセラー**を全公立小学校に配置します。

■メタバースを活用したオンライン環境を構築し、**多様な学びの場、居場所の確保による不登校支援**を行います。

■学校事故、児童生徒の権利擁護、学校などへの過剰な要求などのさまざまな課題に対応するため、**法務専門家の派遣体制を整備**します。

■就労の有無に関わらず、**ベビーシッターの利用料助成を行う市町村を支援**します。

不妊治療への支援

■妊娠を望むすべての人が、積極的に治療に取り組めるよう、**不妊治療費助成を行う市町村を支援**します。

■不妊・不育症、妊娠・出産などの悩みなどに対し、若年層も相談しやすい**オンライン相談窓口**を設置し、引き続き専門職による相談を実施します。

こどもたちを支える

学校現場の環境改善

■「県立高校トイレピカピカ5カ年計画」に基づき、**全ての県立高校のトイレの洋式化・乾式化を進めるとともに、熱中症対策として特別教室や体育館の空調設備の整備を前倒し**を進めます。



整備後イメージ

3 豊かな経済を実感できる明日へ

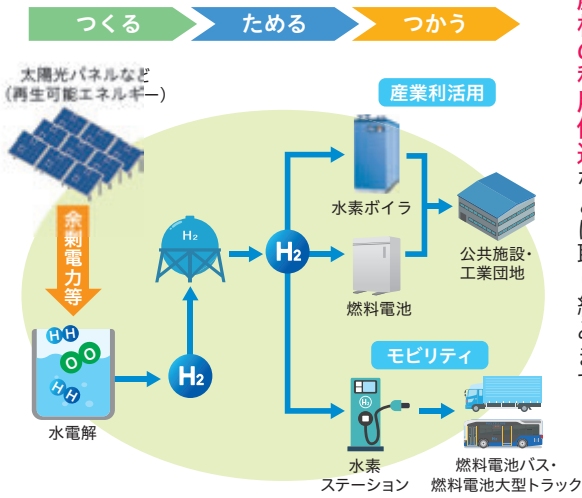
脱炭素社会の実現

2050年の脱炭素社会の実現に向けた「奈良県脱炭素戦略」に基づき、エネルギーを「つくる」「ためる」「かしこくつかう」という**温室効果ガス排出削減の取り組みと、二酸化炭素吸収源となる森林の適切な整備・保全を進めます。**

水素の活用を視野に入れ、水素製造拠点の整備や工業団地の脱炭素化、小水力発電の整備促進などの**リーディングプロジェクトを推進**します。

奈良県フォレストターの市町村への配置を進め、**放置された森林の間伐や植栽などによる再整備や県産材の利用促進**などに取り組みます。

水素製造・貯蔵・利活用のイメージ



産業政策のパッケージ2025

人材確保難や人手不足に対し、学生と企業をより深く強くつなげる取り組みをはじめ、定年後のキャリアアップ支援、移住促進施策の一層の強化、外国人材の呼び込み・定着促進など**人材確保の抜本的強化**に取り組みます。



高校生の企業訪問バスツアーの様子

不足する産業用地の確保を進めるため、**市街化調整区域における企業立地の要件を緩和し、手続きを合理化**します。

物流用ドローンなど**次世代技術の活用を促進**するとともに、奈良県独自の**SDGS企業認証制度の運用を開始**します。



ドローンの実証実験の様子

顧客情報マネジメントシステムを活用し、**企業との関係構築や積極的な情報発信**に取り組みます。
海外展開や事業承継への支援、**奈良発スタートアップのロールモデル創出**などに取り組みます。

大和平野中央の県有地の活用

磯城郡3町における県有地を活用した**まちづくり**を推進します。

〈まちづくりの基本的な方針〉

川西町
こどもを中心に多様な交流が生まれるまち

世界トップレベルのサッカー選手を育成する**バルセロナレジデンスアカデミーの誘致**や**企業誘致**に取り組みます。



イメージ

三宅町

次世代を担う**学生×企業**のまち

学生寮を中心とした交流拠点**「ヤング・イノベーション・レジデンス」**構想の推進や**企業誘致**に取り組みます。



イメージ

田原本町

交通安全・安心のまち

新しい**運転免許センター**の整備を進めるとともに、**仮称新第二庁舎の整備**に向けた検討を行います。



イメージ

3 豊かな経済を実感できる明日へ

観光の振興

■大阪・関西万博を契機に奈良県への海外からの宿泊誘客を一層促進するため、旅行予約サイトを活用して、奈良県の観光資源や宿泊施設の魅力、万博会場からのアクセスの良さなどを発信します。



連携協定締結式の様子

■奈良を深く知り、満足度を高めるため、観光ガイドなど地域の観光人材のさらなる育成や国の天然記念物「奈良のシカ」の保護育成に取り組みます。

■令和8年放送開始予定のNHKの大河ドラマ『豊臣兄弟!』を契機に、県内周遊を促進するとともに県内観光事業者などの機運を醸成するため、関連市町村を含めた奈良県全体の誘客プロモーションを実施します。



『豊臣兄弟!』主人公・豊臣秀長役の仲野太賀さんの表敬訪問の様子

中央卸売市場の再整備

■食の安全・安心を確保する「市場エリア」と、地域の賑わいを創出する「賑わいエリア」を一体的に整備する方針のもと、老朽化が著しい施設を建て替え、高機能化・効率化を図る「市場エリア」の整備を先行して進めます。



再整備後イメージ

国民スポーツ大会

全国障害者スポーツ大会の準備

■令和13年の奈良県での大会開催後も県民のスポーツ振興拠点となる、新アリーナや県立橿原公苑各施設の整備を推進するとともに、アスリートや指導者のさらなる育成に取り組めます。



メインアリーナ（イメージ）

「飛鳥・藤原の宮都」の

世界遺産登録に向けて

■令和8年の登録に向けて、国際記念物遺跡会議（イコモス）の審査に適切に対応するとともに、認知度の向上や登録に向けた機運醸成に取り組めます。

■世界遺産登録後を見据え、受入環境の充実や説明力の強化など来訪者の期待に応えられるよう、奈良県立万葉文化館内に世界遺産の総合的解説を行うエリアを設置するなどの取り組みを進めます。



飛鳥宮跡・飛鳥京跡苑池

南部・東部地域の振興

■南部・東部地域の「集落」の実態調査を行い、地域で安全に安心して暮らし続けていくための施策の検討を進めます。

デジタル人材の育成や大学生と地元事業者をつなぐ就業支援を行うなど、持続可能な地域づくりに取り組めます。

■産官学連携による魅力ある地域づくりを支援するとともに、豊かな自然環境を活かしたアウトドアアクティビティの普及やスポーツ合宿の誘致などを進め、南部・東部地域への誘客を推進します。



奥大和アウトドア・スポーツツーリズム（イメージ）

3つの芽吹きを実らせるために

道路整備の加速化

立ち後れている道路整備を強力に押し進めるため、用地交渉手後一定の期間を経過したものは**土地収用制度を積極的に活用**するとともに、時間を要する**埋蔵文化財調査は資機材の充実などにより効率化を図ります。**

地元自治会などから寄せられる要望のうち、用地取得の必要がなく、規模が小さくても高い事業効果が期待できる改良工事は、土木事務所長の裁量によりスピーディーに工事着手し、概ね1年以内に対処する「ワンレスプロジェクト」を進めます。

ワンレスプロジェクトのイメージ



■ 快適な道路空間の提供を目指し、集中的な維持修繕を行う、「ならの道リフレッシュプロジェクト」を大型車交通量の多い路線に加え、令和7年度から**自動車交通量の多い路線まで対象を拡充**し実施します。

山間エリアにおいては、市町村と連携しながら、**通行に支障となる樹木の伐採**などにも取り組みます。



舗装修繕の実施状況(中和幹線(桜井市))

京奈和自動車道の早期全線整備に向けた

早期全線整備に向けた

決起大会・要望活動

京奈和自動車道の早期全線整備を実現するため、令和6年11月29日、東京で国会議員、国土交通省、西日本高速道路株式会社、関係首長など、多くの方に参集いただき、京都府・和歌山県とともに17年ぶりに決起大会を開催し、機運を高めました。

また、国土交通省、財務省に対し要望活動を実施し、早期全線整備に向けた、工事の推進や予算確保などを強く要望しました。

■ 令和7年度も引き続き、東京で決起大会を開催するとともに、**国土交通省、財務省などに京奈和自動車道の早期全線整備を強く要望**します。



〈仮称〉橿原JCT(大阪方面接続ランプ)【令和8年春供用】



決起大会での要望書手交

大阪・関西万博を契機とした

奈良県の魅力発信

■ 万博会場のEXPOアリーナで、**県の無形民俗文化財に指定されている祭りの披露や奈良酒のイベント**、関西パビリオンでの**全市町村によるPRブース**などを展開し、国内外に発信します。

■ 万博の経済効果が県内全域に波及するよう、民間事業者や県内市町村などと連携し、**クラフトフェアの展開やオープンファクトリーを推進**します。

また、大阪と奈良を結ぶ**デジタル周遊パス「大阪・奈良楽遊パス」**、**観光WEBサービス「ならいこ」の利用促進**などに取り組みます。



EXPOアリーナ(Matsuri)イメージ。提供(公社)2025年日本国際博覧会協会
大阪・関西万博会期:4月13日~10月13日
EXPOアリーナでの奈良県催事期間:5月27日~29日



県庁を支える人材の確保

■ 県庁の働き方・職場環境の改革を進めるとともに、受験者にとって間口の広い職員採用試験とするため、**従来型の公務員試験をSPI型の試験に見直す**ほか、動画やSNSなどを活用し、**採用情報の発信を強化**します。